

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

---

1 調査事件

- (1) 今後の財政見通し（2022～2026）
- (2) 函館市行財政改革推進プラン（2022～2026）（原案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施について

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、令和 4 年 3 月 4 日付けで、総務部及び財務部よりそれぞれ資料が配付されており、互いに関連する案件であることから、担当する両部局同席の上、順次説明を受けたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ それでは、理事者の出席を求める。

（総務部・財務部 入室）

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ それでは、まず今後の財政見通しについて資料の説明をお願いするが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、着席したままでお願いする。

○財務部長（川村 義浩）

- ・ 新たな行財政改革推進プランの計画期間と合わせて令和 4 年度当初予算案をベースに令和 8 年度までの 5 年間の収支見通しを策定した。令和元年 11 月以来の公表となる。
- ・ 詳細については財政課長から説明させる。

○財務部財政課長（鈴木 宏彰）

- ・ 資料説明：今後の財政見通し（2022～2026）（令和 4 年 3 月 4 日付 財務部調製）

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 続いて、函館市行財政改革推進プランについて資料の説明をお願いする。

○総務部長（小山内 千晴）

- ・ 函館市行財政改革推進プラン（2022～2026）（原案）についてだが、ただいま今後の財政見通しについて財務部から説明があったとおり、当面、収支不足は生じず黒字は維持できるものの依然として自主財源に乏しく、交付税などへの依存度が高い硬直した財政構造となっているとの認識のもと新たなプランを策定した。
- ・ プランの内容については行政改革課長から説明させる。

○総務部行政改革課長（京野 尚）

- ・ 資料説明：函館市行財政改革推進プラン（2022～2026）（原案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施について（令和 4 年 3 月 4 日付 総務部調製）

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ お聞きのとおりである。ただいまの説明について、各委員から何か発言あるか。

○遠山 俊一委員

- ・ 何点か確認したいが、行財政改革推進プランの方で、まず3ページの経常収支比率について伺う。経常収支比率は70%から80%が望ましいと言われているが、この表を見ると、まず平成25年は86.1%とまずまず良い数字だったが、この後急激に悪化している。この要因はどのようなことだったのか。
- ・ 多分、今93%とか93.5%とか高止まりしていると思うが、今後改善の見通しがあるのかどうかお聞きする。
- ・ あわせて、2ページだが、財源調整のための基金繰入れの推移、これも平成25年から基金繰入れがないが、収支比率が悪化している時期とこれと符合しているが、これはどのような相関関係があるかお聞きする。

○財務部財政課長（鈴木 宏彰）

- ・ 経常収支比率は財政構造の弾力性を示す比率としており、平成25年度の86.1%から近年は93.3%という形で上昇をしているところである。
- ・ この要因としてはまず、臨時的な経費としての普通建設事業費——ハード事業から近年についてはソフト事業に転換している形で経常収支比率が上昇している。
- ・ 今後この収支比率が改善するかどうかだが、今後もソフト事業を継続的に効果的に実施していく必要があるので、一定程度比率がキープされると考えている。
- ・ 平成25年度から収支比率が上昇していることと基金の積立金のリンクについてだが、直接的に基金の積立金——実質収支の額が収支比率の増加にリンクしているのかと言われればそういうものではない。あくまでも実質収支はその時々収入また支出の差引きなので、直接リンクしているものではない。

○遠山 俊一委員

- ・ 分かった。次に今後の財政見通しの2ページだが、一番下に赤字で「令和5（2023）年度以降の新型コロナウイルス感染症対策関連経費およびその財源は推計に含めていない」と記述がある。内閣府が2021年度10月から12月のGDPを発表して、いわゆるGDPの下方修正をした。この要因として、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の再拡大によって景気が後退し、これで下方修正したわけだが、先ほど説明にあった函館市の財源は自主的かつ安定的な財源としての市税が少なく、国の制度に左右される地方交付税等に依存している脆弱な体質であると——いわゆる財政力指数が低いとここで述べているが、そうであるならば、新型コロナウイルス感染症による国の経済の状況は、市の財政に大きく影響してくるのではないかと思うが、赤字の「推計に含めていない」ということに対してどんな考えを持っているかお聞きする。

○財務部財政課長（鈴木 宏彰）

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策関係経費を推計に含めていないことについてだが、まずここに記載しているとおり令和5年度以降は積算に含んでいない。その要因は、まず、新型コロナウイルス感染症の対策の財源は基本的には国から財源を10分の10や補助でいただくところであり、一方で一般財

源相当額については、財政調整基金などで対応している内容である。現時点で新型コロナウイルス感染症対策の支出は、対策をどれだけの事業規模やどのような内容で行うのか、今後の感染状況もまだ分からないので、その部分については見込んでいないところであり、結果、収支には影響しないと考えているところである。

- ・ また、国でGDPを下方修正したことについて、財政見通しに反映しないのかという点についてだが、今回の財政見通しは、あくまでも今の市税、交付税などについて、国、北海道、本市の現行制度に基づいて試算、推計しているものである。こちらも基本的には今後7月、8月の交付税の本決定、国の概算要求、または年末の地方財政計画などで正式に国の財政運営の数値などを決定していくものだが、現時点ではあくまでも現行制度に基づく数値を反映して積算しているところである。

#### ○遠山 俊一委員

- ・ 最後になるが、ちょっと突発的なことで、ロシアのウクライナへの侵攻によって貿易に大きな影響を及ぼし、特に原油の輸入に関して規制されることによって、これも日本の経済を大きく作用する要因になってくると思う。その時に、例えば今この時期にウクライナ情勢がどういう結末になるのか、それが日本の経済社会にどう影響を及ぼすのかをもう少し見極めながらプランの作成とはならないのか。この時期なのか、その辺についてお聞かせ願いたい。

#### ○総務部行政改革課長（京野 尚）

- ・ ロシアやウクライナ情勢等を踏まえた行財政改革推進プランの策定時期の関係の質問かと思うが、行財政運営上対応が必要な大きな事象とか、あるいは外的な要因が生じた際には、プランの内容の改定も検討しなければならないと思うが、現状、そういう外的な動きはあるにしても、このプランの内容を直接変えるような影響を与えるところまでは至っていないと認識しているので、予定どおりパブリックコメントを実施して、それが終わる4月中旬ぐらいの予定で策定して、公表したいと考えている。

#### ○福島 恭二委員

- ・ 1点だけちょっと確認したい。今説明があったように、情勢の変化もあるから、それに対応するための財政調整基金も含めて、基金の積立も視野に入れながら対策をしていると思うが、来年度から定年の延長が始まるということで、幸か不幸か退職金が出ない年がでてくる。予定していたものを支払わなくていい状況が生まれるようであるが、今の説明からすると、その点については十分検討して、積み立て後の財源として活用したいと説明があったと思うが、前段申したとおり、様々な問題が出てくると、とかく切り崩しやすいところから切り崩して使うという傾向があるものだから、できるだけその危険は議会の同意を得るなりして、説明の上できちんと活用するということの歯止めがなされるのか教えてほしい。

#### ○財務部財政課長（鈴木 宏彰）

- ・ 定年の段階的な引き上げに伴う退職手当の平準化に関する基金の関係の質問であるが、まず、退職手当の支出の平準化を図るための基金について、現時点において、例えば財政調整基金を活用するのか、もしくは特定の目的基金を設置して、その基金を活用するのかについては検討しているところである。しかし、財政調整基金であっても特定目的基金であっても、定年の段階的な引き上げに伴う年

度間の平準化のための基金造成に際しては、用途を明確にして管理すべきものであると考えている。

- ・ 今、総務省でも各自治体に定年引き上げに関する退職手当の対応ということで、昨年の 11 月頃に検討状況の把握調査があった。今後についても国において何らかの考えが示されることも想定されると思っている。あくまでもの平準化のための基金については、他都市の状況とか、今いただいた意見などを参考にしながら令和 5 年度の予算編成までに検討していきたいと考えている。

#### ○福島 恭二委員

- ・ 分かった。是非、明確化しながら、議会の同意を得ながら活用するというので、やっていただきたいと要望しておく。
- ・ それから意見なのだが、人口減少時代を迎えてという言葉がよく出てくるが、イコールこのことが人口減少を肯定しているように感じる。そういう精神の中で人口対策をすることが果たして、本腰を入れて人口減少を抑えて増加に転じる方策につながるのか。精神的なことからも、もう既にやむを得ないということが先行して、したがって財政についても職員数についても、いわゆる行政のサービス内容についても、身の丈に合った行財政運営ということをよく言われるが——確かにそれは原則だが——それであれば、将来に希望を持った事業や社会の明るさというのが見えてこないということが市民の中からよく聞かれる。大型公共事業もあまりないから云々ということも、財政の支出がないということも、やはり市民がもっと将来に希望を持てるような、明るい展望を持った政策を示すことも同時に必要であり、財政が大変だから何もできないというような感じを与えるのではなく、もう少し夢と希望を与えるような財政運営なり行政運営をしてほしい。

#### ○市戸 ゆたか委員

- ・ 説明を受けたが、今、福島委員も言った人口減少の影響だとか、それから普通交付税の段階的な減少、一般財源の収入が約 24 億円減少するというのはマイナスのイメージである。その中で、今度は国保、介護、後期高齢の特別会計も増えていくし、障がい者の福祉サービスも増える、財政調整基金も貯めるとなってくると、市民のサービスが低下するのではないかと、市民の今のいろいろな自己負担がどんどん増えていくのではないかというイメージを持つ。そこら辺をまず確認したいと思う。

#### ○財務部財政課長（鈴木 宏彰）

- ・ まず、人口減少に伴う経常一般財源収入については、今後減少していく見通しである。一方で歳出だが、市民サービスを低下させないためにも、例えば経常経費の縮減をしながら市民サービスを低下させないように事業を実施していく形で、その部分については行財政対策——スクラップアンドビルドを徹底して市民サービスを低下させないような考えで今後財政運営を図っていかなければならないと考えている。

#### ○市戸 ゆたか委員

- ・ 市民サービスの低下があってはいけないという考えの下に、行財政改革をしていくということで、わかった。
- ・ 行財政改革の在り方だが、この内容でいくと、事業評価とか公共施設の在り方とか——この 5 年間も、公共施設をなくしていったという経過があり、その中で、土地をどんどん売って市の収入にしていったという経過があると思うが、そこら辺の検証も必要だと思う。要するに、公共施設というの

は市民の財産であるから、市役所の持ち物という感覚ではなく、市民の財産という形で市民にきちんと声を聞いていくなどの対応が必要だと思っている。そういう意味で、検証はどこですか。

○総務部行政改革課長（京野 尚）

- ・ プランの検証については、5年間の計画を定めて——具体的な取り組みの内容については、取組項目があるが、まだ細部の、今の公共施設の見直しも含めて、これからいろいろと検討したり、あるいはどういう進め方でいくかということも、これから具体的なことは進めていくが——毎年1年ごとに進捗状況を把握して、把握したものをまとめて外部の委員会——行財政改革推進会議に示して、ご意見をいただいて、次の進め方に対する意見あるいは見直し等を含めて進捗管理することになっている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 5年間の検証は外部の意見を聞きながらということでも今答弁があったが、資料の7ページの推進体制に市長、副市長の方針の決定があって総務部、企画部、財務部、そして各部局ということで進捗していく、そしてその報告を行財政改革推進会議にかけ、そこでまた意見を聞くということである。市民から委員の公募もするということだが、先ほど福島委員からもいろいろとあったが、議会の関わりというのは、議会の意見をどこで聞いてどこで報告するのか、5年間の検証も議会にきちんと報告がされるのか、まずそこをお聞きしたい。

○総務部長（小山内 千晴）

- ・ これまでも毎年、プランの進捗状況の報告という形で議会に資料配付しているしホームページ上でも公表しているので、その中であえて常任委員会場で進捗結果の報告をしていないが、必要があればそういう場で内容の説明をしたいと思う。いずれにしても毎年、新たなプランについても、先ほど言った行財政改革推進会議およびホームページ、それから議会にも改めて資料配付する形で参画いただければと、そういう場で貴重なご意見をいただければと考えている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 議会は市民の代表だと思っているので、そういった意味ではきちんとそこら辺を丁寧に、資料を配付して意見がないのであればそのまま進めるという対応ではなくて、やはりしっかりそこら辺は行っていただきたいと思う。
- ・ このプランを作成するに当たっては、各部局や全職員に係る非常に大事なプランだと思うが——多分、組合といろいろな折衝をしてきたと思うが——職員一人ひとりの意見はどこで収集するのか。いろいろな意見があると思うが、そこら辺はどうなっているのか。

○総務部長（小山内 千晴）

- ・ まず、このプランの策定に当たっては当然組合に説明している。そういう場で意見も吸い上げているが、一人ひとりの職員については、組合員の前に市の職員であるので、各職場で自分たちの取り組みやどうすればいいのかというのは主体的に関わって、考えて進めていただく形になる。その仕組みがあるわけではないが、そうした場や予算要求、それから直接総務部に対しての意見などの形でくれば当然反映していく。いずれにしても、一丸となって進めていかなければならないので、こういうプランや進捗結果については職員もきちんと見るように周知をかけて、市役所一体として進めていく

いと考えている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 市役所の職員に対してもきちんと説明や意見を聞く場があると捉えてよいか。プランができて、決まったから職員は従ってほしいではなくて、市の職員にも見てもらい意見があるなら寄こしてほしいという、そういう姿勢はあると思ってよいか。

○総務部長（小山内 千晴）

- ・ 策定した後の対応だが、策定されれば当然一つの方針として決まったという事実はある。それに基づいて職員はみんなその方向で進めようということである。ただ詳細や具体の取り組みについてはこれで決まりという形のプランではないので、実際の取り組みや取り組みを進めるにあたっての体制は、職場や職員個人からの意見を総務部として聞いて、今後どう進めるかということで反映したいと考えている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ よろしくお願ひしたい。
- ・ 10 ページだが、行財政資源の適正配分の推進ということで、先ほども言ったが事業評価制度と事業の見直し、公共施設の在り方の検討、歳入確保の検討ということで一覧表が出ていて、5年間のスケジュールが出ています。質問したいのは、この事業評価の制度の構築や公共施設の在り方が令和4年から令和8年、もしくは公共施設は令和7年までの間で計画を作るということであるが、そもそも前の5年間のときも計画はあり、その計画の変更もあり得るのか、それともその計画を維持していくために今後予算をつけていくということなのか、そこら辺の考え方をお知らせ願う。

○財務部長（川村 義浩）

- ・ 公共施設の見直しに関わって、No.2にある令和7年というのは、現計画が10年間の計画で、令和7年で終わるとのことでの表示である。従って、令和7年以降については新たに計画を策定するという内容になっている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 今、この公共施設の在り方で計画を立てていて、例えば公共施設のそれぞれのカルテの中の内容が令和7年まで続くということか。それとも新たに行財政改革プランができるので、公共施設の在り方の計画も変更していくのか、そこら辺を確認したいと思う。

○財務部長（川村 義浩）

- ・ 公共施設の在り方は、個別の各施設の在り方ということで現計画があつて、その下の資料に各施設のカルテというものがあるが、カルテに関わっては、新たに個別の公共施設の在り方を策定する際に、もちろん新しいものに更新していくという形になるし、大きな管理計画は令和7年までということで決められているが、個別の公共施設の在り方については、作成してから大きな要因——例えば今議論されている棒二などの公共施設も入っているので、令和7年にこだわらずに適宜見直していければと考えている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 今この改革プランが示されているが、これとは別に今ある公共施設の在り方の個別の問題に関して

は適宜見直していくということで、その見直しに当たっては、どこで議論してどういう形で報告されるのか確認したいと思う。

○財務部長（川村 義浩）

- ・ 見直しの手法だが、案として策定したものについては、議会の皆さんにも当然お示しをして、議論していただく形になるし、そういった意味では市民の方にもお示しをして広く市民意見を取り入れながら、丁寧に対応していきたいと考えている。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 丁寧な対応を望む。今までどちらかというところとちょっと足りなかったところも多々ある。今後、適宜見直すに当たっても、今まで示してきたカルテがあるので、カルテに沿って進んでいくと思っているのにまた変わるということもあるから、そこは本当に丁寧に行ってほしいし、市民の方の要望も取り入れるような方向で進めていけたらと思っている。そこは今、財務部長から答弁いただいたので、丁寧をお願いしたいと思う。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ ほかに発言あるか。（なし）
- ・ 理事者は退室願う。

（総務部・財務部 退室）

- ・ 議題終結宣言
- 

2 その他

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前10時57分散会